

テクノ・クラシック・オペラショウ (一財)山森記念財団 PRESENTS

裸の金次郎

作 / 作曲 / 演出：伊勢谷宣仁

プロジェクト・コンダクター

山森一男（一財）山森記念財団代表理事）松原勝久（氷見市の環境を良くする会会長）

出演：オペラ季節館

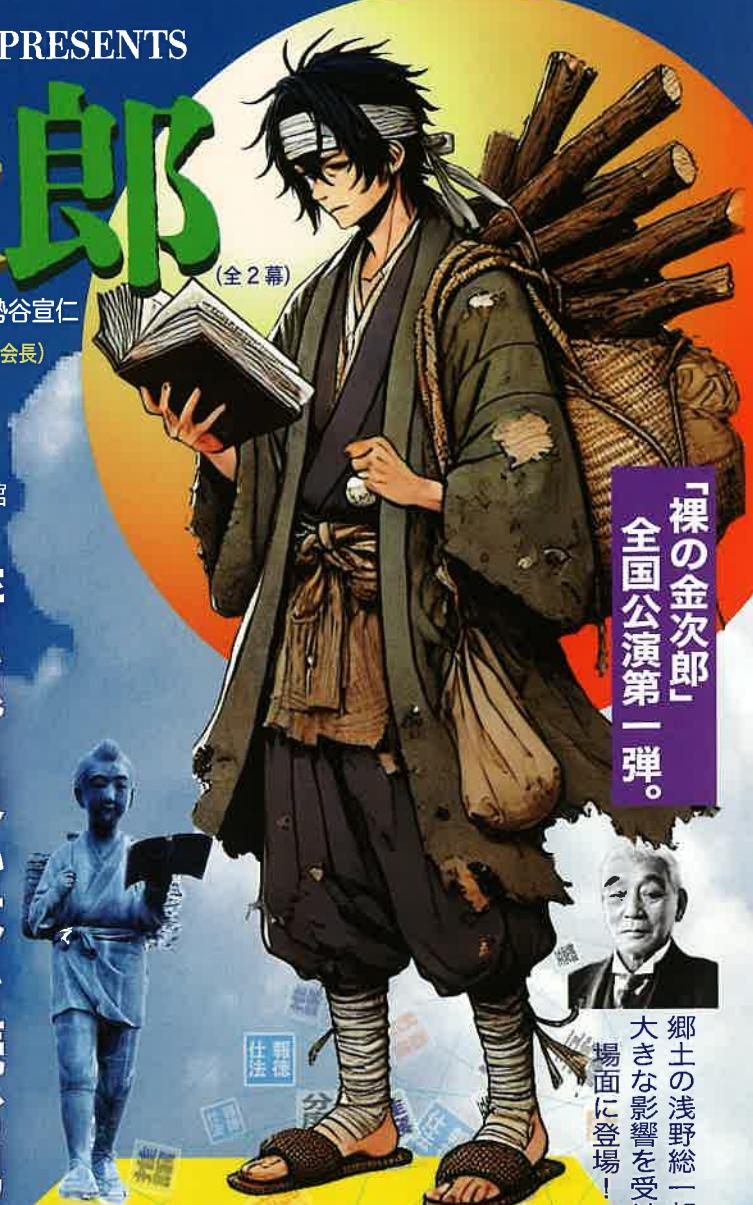
氷見市民金次郎合唱団

照明：テック 振付：荒木薫 合唱指導：塙原早苗

ステージマスター：中野博之 舞台・衣装製作：オペラ季節館

演奏：コンピューター・デジタルサウンド

(全2幕)



「裸の金次郎」
全国公演第一弾。

郷土の浅野総一郎も
大きな影響を受け
場面に登場！



薪を背負い本を読む男。
その男は、一体何もの？

2025

9月7日(日) 15:00 開演

2025 6/15 発売

氷見市芸術文化館

入場料◆全席指定（税込）：SS席 5000円 / S席 3000円 / A席 2000円

（同日午前、氷見市全中学校鑑賞）

主催：一般財団法人山森記念財団 「裸の金次郎」氷見市実行委員会

協力：（公財）大日本報徳社 浅野総一郎翁事績顕彰会

後援：氷見市 氷見市教育委員会 氷見商工会議所 氷見市観光協会 JA 氷見市
氷見市小中学校 PTA 連合会

「裸の金次郎」全国公演推進委員：松沢成文 燕山恭彦 山森一男（公財）報徳福運社

■チケット取り扱い ■小中高・大学生無料（山森記念財団にお問合せください）。未就学児童は入場できません。

アーツナビ（076-432-3117）氷見市観光協会（0766-74-5250）ひみ番屋街（0766-72-3400）アーツナビ

お問い合わせ・チケット販売◆080-8745-9624（山森記念財団）メール■yamamorimf@gmail.com



裸の金次郎

今の時代にこそ、金次郎の手法、教え、それを伝えたくて・・・どうかお越しを！

プロジェクトコンダクター

山森 一男



(一財)山森記念財団代表理事

■林正之・前氷見市長は以前、久目・速川・明和の三つの小学校が廃校になり、9年生の小・中一貫校として「西の杜学園」が誕生したと話されました。私の母校が無くなったのです。

かつて、氷見市が消滅可能性都市として報道されました。驚くべき少子化の実態があります。

■今、地域創生の道は避けては通れません。3年前の「山森記念財団」設立はそのため、記念行事で、堂故茂（元氷見市長）は、氷見に根っこを生やした《人づくり》を提唱されました。

この度の「裸の金次郎」公演の原点は、ここにあります。薪を背負って「大学」を学ぶ金次郎の生き様が一万円札の顔「渋沢栄一」らに影響を与え、今日の日本の発展の礎を築いたのであります。

「中学生の団体鑑賞」を決めたのも、自ら【学ぶ】意識持つてもらうためであります。

■故郷を離れて70年。海外も含めて自由奔放に事業経営を行ってきましたが、これからは氷見に帰って、少しでも故郷のお役に立てればと朝日山に移住を決めました。

昨秋、小田原での初演にも参画しましたが、素晴らしい作品で今回はさらにヴァージョンアップのこと。この「裸の金次郎」の公演が復興の一助になると共に、これからの全国公演の起爆剤になれば幸いです。

誰もが知っている<二宮金次郎像>～でも、一体その生涯とは？それをオペラショウで？

■一言でいうと【江戸時代末期、600あまりの地方の財政再建した農政家】でした。

16歳までに両親を亡くし、無一文の状況で二人の弟を支え、日夜畠を耕し、薪を売り歩き、お百姓に学問は必要ないと言われた時代「大学」を独学し、やがてお金を貯め、困っている人に融通するなどして金融制度や、協同組合等の基礎を作り、自らは清貧に徹し、その生きる哲学は多くの偉人に多大な影響を与えた大人物だった人です。壮年期に幕府より「尊徳」の名を挙げられました。

■その生涯が二幕仕立ての音楽劇に。伴奏は、楽譜を一音一音膨大な時間をかけてコンピューターに打ち込み、生の楽器では得られない幻想的なサウンドを完成。

■このオペラショウはその金次郎の生涯をたどり、今の時代にこそ彼の仕法の重要性を広く理解していただくためのプロジェクトです。



ソリストは海外留学や、オペラ等々の舞台で盛んな活動をしています。このオペラでは重要な役を複数担います。

テクニカル・アシスタント



千葉県出身。東京芸術大学院修了。

大西 恵代



静岡県出身。国立音楽大学声楽科卒。

荻島 寛樹



東京都出身。東京音楽大学声楽科卒。

女屋 哲郎



中島 康晴



西谷 衣代



星野 淳



本岩 孝之

シャイン・キャスト

阿久津 高広

高野 史郎



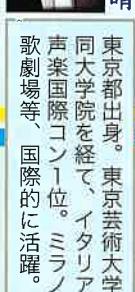
長谷川 友代



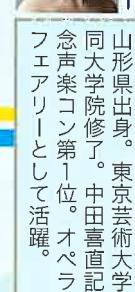
山本 竹佑



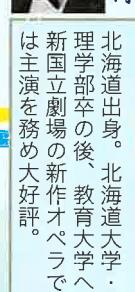
東 浩市



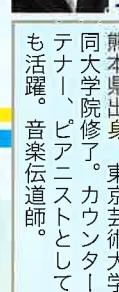
東京都出身。東京芸術大学同大学院を経て、イタリア声楽国際コンクール1位。ミラノ歌劇場等国際的に活躍。



山形県出身。北海道芸術大学附属学院修了。教育大学へ。新国立劇場の新作オペラは主演を務め大好評。



北海道出身。北海道芸術大学附属学院修了。教育大学へ。新国立劇場の新作オペラは主演を務め大好評。



熊本県出身。東京芸術大学同大学院修了。カウンターテナード、ピアニストとしてテナード、ピアニストとしても活躍。音楽伝道師。

◆氷見市金次郎合唱団

常本美紀 尾畠ゆき枝 指崎睦美 西岡真須美 大谷章子 朝日祐子 坊伊都子 坊真奈美 森本雅子
向山千明 指崎泰利 加納 聖 松木翔太 川辺勝治 海下竜蔵 三國信孝



伊勢谷宣仁（演出・作曲、オペラ季節館代表）

◆国立音楽大学卒。日本の主要なオペラ団体の要として文化庁主催公演等々を担う。海外の舞台芸術を取材・研修。演出・作曲作品多数。昭和音楽大学・同大学院教授を歴任。

オペラ季節館（東京町田市）

1991年、オペラショウ「オズの魔法使い」（主催・三越）公演で創設。以後複数の作品をコカコーラ社、新聞社、文化庁等々の主催で全国また、海外でも公演。昨年には有楽町朝日ホール開館40周年でオペラショウ「ラ・ボエーム」を6回公演。

去る5月安芸の宮島でオペラ公演。約100余人で活動。



◆小田原に生を受けた金次郎は16歳までに両親を失う。二人の弟と共に親戚に預けられ離別。

正に裸一貫の境遇から一念発起し、家を再興◆その功績が認められ、千両の借財を抱える小田原藩・家老家の再興に着手。5年で完済の上、3百両の余剰金。しかし一切の謝礼を受けず～～。

◆そして、今度は小田原藩から執拗な要請を受け、飛地桜町の財政再建をも引き受ける◆荒れた人心、瘦せた土地、様々な抵抗、妨害の末、成田山に身を隠し断食修行。金次郎を欠いた桜町の領民は目覚め、改めて金次郎の指導を仰ぐ。そして10年の歳月を経て、復興を成し遂げる。

◆やがて金次郎は、江戸幕府の幕臣にも登用され、江戸後期、関東一円600の国々を次々と再興。その手法は「報徳仕法」と呼ばれ、後世、各界の人物に多大な影響を与えた！

◆さて～、金次郎の影響を受けた近代日本の礎を築いた渋沢栄一、安田善次郎、豊田佐吉等、そして氷見市出身の浅野総一郎等々たる名士は時代を超え、カフェに集い「今の時代にこそ金次郎が必要」と言うが…。

